

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ジャパンカップはドウデュースが優勝

11月24日(日)に行われたジャパンカップ(G I)では、ドウデュース(牡5歳/栗東・友道康夫厩舎)が優勝、5つ目のG Iタイトルを手に入れました。天皇賞(秋)とジャパンカップの連勝は昨年のイクイノックスに続いて2年連続・史上6頭目。鞍上の武豊騎手は同レース5勝目で、これは歴代単独第1位の記録となります。

●岩田望来騎手がJRA通算500勝を達成

11月24日(日)の6回京都8日・第6レースではネブラディスクが1着となり、同馬に騎乗した岩田望来騎手(栗東・フリー)は、現役36人目となるJRA通算500勝(4546戦目)を達成しました。

●橋口慎介調教師がJRA通算200勝を達成

11月24日(日)の6回京都8日・第10レースとして行われた清水Sではビヨンドザヴァレーが1着となり、同馬を管理する橋口慎介調教師(栗東)は、現役110人目となるJRA通算200勝(延べ2126頭目)を達成しました。

●トゥルポー、マイネルファンロンが競走馬登録抹消

2021年阪神ジャンプS(J・GⅢ)などの勝ち馬トゥルポー(牡8歳/美浦・小笠倫弘厩舎/JRA通算33戦6勝)と、2021年農林水産省賞典新潟記念(GⅢ)の勝ち馬マイネルファンロン(牡9歳/美浦・手塚貴久厩舎/JRA通算48戦5勝)は、9月7日(土)までに競走馬登録を抹消されました。トゥルポーは鳥取県伯耆町の大山ヒルズ、マイネルファンロンは新潟競馬場でそれぞれ乗馬となる予定です。

●メイショウサムソンが死亡

11月26日(火)、メイショウサムソン(21歳)が死亡しました。同馬は2006年に皐月賞と東京優駿(日本ダービー)を、2007年には春秋の天皇賞を制するなどJRA通算26戦9勝・海外1戦0勝の成績を残し、種牡馬としては重賞3勝のデンコウアンジュなどを出しています。2021年を最後に種牡馬からも引退し、公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル引退名馬繋養展示事業の助成対象馬として北海道日高町のひだか・ホース・フレンズに繋養され余生を送っていました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ネクストスター門別はミラクルヴォイス【各地の主要2歳重賞】

ネクストスター門別(10月3日、門別、1200^米)は、中団から差を詰めた4番人気のミラクルヴォイス(牡、父ゴールドドリーム)が直線に入って間もなく差し切りました。兵庫ジュベナイルC(9月19日、園田、1400^米)は、5番手から4コーナー手前で抜け出した4番人気のラビドフィオーレ(牡、父ホッコータルマエ)が優勝。金沢シンデレラC(9月21日、金沢、1500^米、牝馬)は、2番手を進んだ3番人気の北海道からの遠征馬プチブラージュ(父ストロングリターン)が3コーナーで逃げ馬を交わして5馬身差の圧勝を取めました。サンライズC(10月2日、門別、1800^米)は、単勝1.7倍で断然人気のリコースパロー(牡、父シニスターミニスター)が2番手から4コーナーで先頭に立って押し切り、デビュー以来4連勝を達成。ネクストスター盛岡(10月6日、盛岡、1400^米)は、差のない2番手から直線入口で前を捉えた3番人気のポマイカイ(牡、父ベストウォーリア)が1馬身半差で完勝。カベラ賞(10月6日、佐賀、1800^米)は、1番人気のポリスヴィークル(牝、父モーニン)が逃げ切りました。若駒賞(10月20日、盛岡、1600^米)は、4番手から内を突いて伸びた2番人気のマツリダマスラオ(牡、父ニシケンモノフ)が残り200^米で差し切り勝ち。ネクストスター金沢(10月20日、金沢、1400^米)は、序盤先頭から一旦3番手まで下がった3番人気のショウガマッタナン(牝、父ナムラタイタン)が残り150^米で先頭を奪い返し、重賞初制覇を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●カルティエ賞～欧州年度代表馬にシティオプトロイ

欧州競馬の年度表彰制度であるカルティエ賞の受賞人馬が現地11月20日に発表されました。年度代表馬と最優秀3歳牡馬のダブル受賞となったのはアイルランドのシティオプトロイ(牡3歳、父ジャスティファイ、A. オブライエン厩舎)。今年は初戦のG 1英2000ギニーで9着の後、G 1英ダービー(芝2410^米)を2馬身3/4差で快勝して巻き返すと、初の古馬相手となったG 1エクリプスS(芝1990^米)、そして逃げてコースレコードタイムを樹立したG 1インターナショナルS(芝2050^米)とG 1を3連勝。その後、ダートのG 1ブリーダーズカップクラシックにも挑みました(8着)。来春からアイルランドのクールモアスタッドで種牡馬入りします(交配料は7万5000^{ポンド}≒約1192万円/1^{ポンド}≒159円で換算。以下同じ)。

なお、クイーンアンS(芝1600^米)、ジャックルマロワ賞(芝1600^米)、クイーンエリザベスⅡ世S(芝1600^米)と3つのG 1を制し、11月のマイルチャンピオンシップ(G I)にも出走したイギリスのチャリン(牡4歳、父ダークエンジェル、R. ヴェリアン厩舎)は最優秀古馬に選出されています。なお、チャリンは5着だったマイルチャンピオンシップを最後に引退。フランスのモンフォール・エ・プレオー牧場で種牡馬入りします(交配料は3万5000^{ポンド}≒約556万円)。